

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

令和4年5月19日 開会 11時59分 閉会 13時21分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

沖久教人	三宅孝之	原田敬久	多賀信祥
柳原英子	山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎
荒木謙二	柳井一徳	惣台己吉	三宅文雄
坊野公治	上野安是	西田久志	宮地俊則
佐藤豊			

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 大滝文則

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総合政策部長	安東慎吾
健康福祉部長	沖津幸弘	総務部次長	西村直樹
健康福祉部次長	片井啓介	総務部参与	岡崎祐一
子育て支援課長	片山恭一	都市施設課長	田口政之
財政課長補佐	岩本陽子	福祉課長補佐	藤田昌巳
子育て支援課長補佐	大塚健	都市施設課主幹	昼田修司
教育長	伊藤祐二郎	教育次長	唐木英規
田中美術館課長	高田知樹	田中美術館主任	青木寛明

(3) 事務局職員

事務局長 和田広志 次長 藤井隆史

6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（佐藤 豊君） 本会議に続きご苦労さまです。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長のご挨拶をお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆様には、本会議に引き続き予算決算委員会を開催いただきまして誠にありがとうございます。

この委員会に付託されております案件は、令和4年度井原市一般会計補正予算（第1号）でございます。皆様方におかれましては、慎重にご審議をいただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

〈議長挨拶〉

〈議案第30号 令和4年度井原市一般会計補正予算（第1号）〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

〈歳出全般〉

〈第20款 民生費〉

〈なし〉

〈第55款 教育費〉

委員（三宅文雄君） 説明資料の中で、事業の内訳ということで2,470万円上げられております。賃金または物価変動に基づく請負代金額等の算出ということで、これをもう少し詳しく説明をいただけますでしょうか、なぜこうなったのかということの説明をお願いいたします。

都市施設課長（田口政之君） それでは、質問にお答えをさせていただきます。

補正予算資料の事業費の内訳のところでございます。

下に計算式を書いております。この説明をさせていただきますが、まず変更後の残工事額から現在の残工事額を算出いたします。それが2行ほど下の3,149万円ということにな

ります。そこから請負者負担となります残工事額の1%、908万9,800円を除いた額が2,240万200円となります。これが設計金額ということになりますので、これに発注時の入札率0.9995を乗じまして税抜きで2,238万円、これに消費税率を掛けまして2,461万8,000円、これが増額になるということでございます。

委員（三宅文雄君） 最初から聞きますけれども、スライド額、税抜きということで、変更後残工事額9億4,047万円というのは、これは市のほうから残工事額を算定したもので、それとも業者から出た数字でしょうか。

都市施設課長（田口政之君） 市のほうで積算した金額でございます。

委員（三宅文雄君） それでは、その右の残工事というのは、これも市のほうの積算額でしょうか。

都市施設課長（田口政之君） そのとおりでございます。

委員（三宅文雄君） ということは、この工事額というのはどういった基準に基づいてこの金額が出たのでしょうか。

都市施設課長（田口政之君） 変更後の残工事額についてでございますけれども、この変更の積算に当たりましては、国が公表しております公共工事設計労務単価や物価本等の刊行物、それから発注時に見積りを徴した専門工事業者から再度見積りを徴取して積算したものでございます。

委員（三宅文雄君） ということは、残工事が9億4,000万円あって、要するに、工事の内容にもよるかと思うんですが、今もう工事としてはこれから仕上げの段階に入りますよね。だから、要するに田中美術館は3年間にわたって工事が進んでいるわけなんですけれども、1年目、2年目、3年目となると、3年目というときき言ったように仕上げの段階に入ってきて、国の算定しとる基準っていうのは、2年にわたるものとか1年にわたるものといういろいろ段階があると思うんですけれども、それは調査されましたでしょうか。

都市施設課長（田口政之君） このたびの積算につきましては、今現在で残っておる残工事を今の単価で計算し直したものであるということになります。

委員（三宅文雄君） その単価というのは、先ほど言われたように、業者から出されたものということでよろしいでしょうか。

都市施設課長（田口政之君） 先ほども申しましたとおり、公共工事の設計労務単価でありますとか現在の物価本とか、そういったもので単価を出したものでございます。

委員（三宅文雄君） ということは、市場単価というものがありますよね。市場単価に基づいて算定した金額という理解でよろしいのでしょうか。

都市施設課長（田口政之君） そのとおりでございます。

委員（三宅文雄君） 分かりました。

それと、もう一点お聞きしますけれども、このたび物価スライドということで、最初に議長のほうから話がありましたけれども、鉄骨や木材なんかも値段が上がっているということでこの物価スライドを補正予算として計上されていますけれども、今までにそういった事例はございましたでしょうか。

総務部参与（岡崎祐一君） このたびのインフレスライド条項に基づく請負代金の変更の事例ということでございますが、過去10年間を見まして、1件ございました。

委員（三宅文雄君） もしよければいつ頃、どこの工事だったでしょうか。

総務部参与（岡崎祐一君） 平成26年度の事業で27年度へ繰越しをして工事を行っているものでございますが、市道的場西新町線の日芳橋の橋梁修繕工事を行っておりまして、その際にこの条項に基づく変更を行っております。

委員（三宅文雄君） 建物についてはないですか。

総務部参与（岡崎祐一君） ございません。

委員（三宅孝之君） 今の田中美術館の事業に関して関連して質問するんですけども、インフレ、デフレで今後の請負金額を変更するということなんですが、急激なインフレ、デフレとここでは説明があるんですけども、明確なインフレ率というのか、そのあたり、これだけインフレがあって、これだけデフレがあってということでこの変更をされているのか、それとも大まかに急激に高騰したとか、下がったとかということでそれをやっているのか、その辺の基準というのはあるのでしょうか。

それともう一つは、ウクライナのロシア戦争の中で資材がかなり高騰しているとかという話なんですけども、それによって工期は今順調にいつているのか、そのあたりをお聞かせください。

総務部参与（岡崎祐一君） インフレ、デフレで率とか基準があるのかというようなお尋ねの部分でお答えをいたします。

これにつきましては、現在はいわゆる新型コロナウイルスの感染症でありますとかウクライナ情勢というようなことがありまして、原油価格等の高騰に伴っているような資材等も物価上昇しているという状況が一般的にはございます。こうしたことが契約時には予期することができなかったであろうというようなことであれば適用していくということになりますけれども、いわゆる数字で率というものはございません。

井原市のほうでは、国土交通省のほうからそうした費用の水準の確保というような通知が出るようなタイミングをもって広くそうした状況にあるというようなことと判断いたしまして、こうした条項を適用することとしております。

都市施設課長（田口政之君） 工事の進捗状況でございますけれども、現在のところほぼ予定どおり進んでおりますので、工期内での完成の見込みでございます。

委員（三宅孝之君） インフレ率、デフレ率という基準がないということでしたら、今後もしもインフレ、デフレは起こると思うんですけども、そのあたりはどうやって判断されるのかなというところはあるんですけども、ありがとうございます。もう答弁はこれでいいです。質問はないです。ありがとうございます。

〈なし〉

〈歳入歳出全般〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（佐藤 豊君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（佐藤 豊君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、午前中から引き続いて慎重にご審議をいただきまして誠にありがとうございます。

それこそインフレ、デフレという話もありましたけれども、資材単価の高騰、それから物品の調達が大変困難になっている。いろんなことが不安定な時期を迎えております。そういった中、行政としてできることといたしますと、従来からなるべく早期発注に努めていたところではございますが、さらなる、マンパワーの問題がありますけれども、可能な限り早期発

注に努めていきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

〈議長挨拶〉

委員長（佐藤 豊君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆様、大変ご苦勞さまでした。